

【高等学校「情報Ⅰ（１）」 単元名：情報社会の問題解決】

【沖縄県立南風原高等学校】

学習指導と学習評価の工夫・改善点の概要

主体的に物事を捉え、自らの考えを深め、表現しながら他者と協働的に問題を発見し解決する能力の育成を図る。問題解決型実習を通して、学習活動の振り返りや自己評価、相互評価を行い、グループで協働して発表を行う。

評価規準

【知識・技能】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身につけている。

【思考・判断・表現】 情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を捉え考察している。

【主体的に学習に取り組む態度】 一連の活動を振り返ることを通して、自らの学習を調整しようとしている。

主体的・対話的で深い学び

問題解決の手法を理解

問題の発見・整理・分析

発表資料制作

発表・相互評価

振り返り

学習指導と学習評価の工夫・改善の具体的な取り組み

【学習指導の工夫】

- ・文部科学省制作の情報化社会の新たな問題を考える動画教材を活用し、グループ別に異なった事例について問題解決を行ってもらおう。
- ・工程表や成果物を事前に教師から提示を行い、学習の見通しを持たせる。
- ・リーダーを中心に、自分たちで考え、判断して進める。
- ・グループ活動を取り入れ、役割分担を行い、主体的・対話的活動に取り組む。
- ・発表資料は、グループで協働編集できるように工夫を行う。

【学習評価の工夫・改善場面】

- ・クラウドサービスによる振り返りを毎時間行う。

【高等学校「情報Ⅰ（Ⅰ）」 単元名：情報社会の問題解決】②

【図①】 問題解決実習 工程表

問題解決実習 工程表		
時間	内容	成果物
1時間目	オリエンテーション 班決め、テーマ決め	個人目標ワークシート
2時間目	IE図を用いて問題認識・仮説の設定	IE図の提出（グループ課題）
3時間目	問題にあわないための知識・理解を深める	スライド
4時間目	問題解決策の選定・発表資料まとめ	スライド
5時間目	発表（1）	スライド
6時間目	発表（2）	スライド
7時間目	問題解決実習 振り返り	ワークシート

【図②】 生徒への指示内容

第2時

問題・・・理想と現実とのギャップ

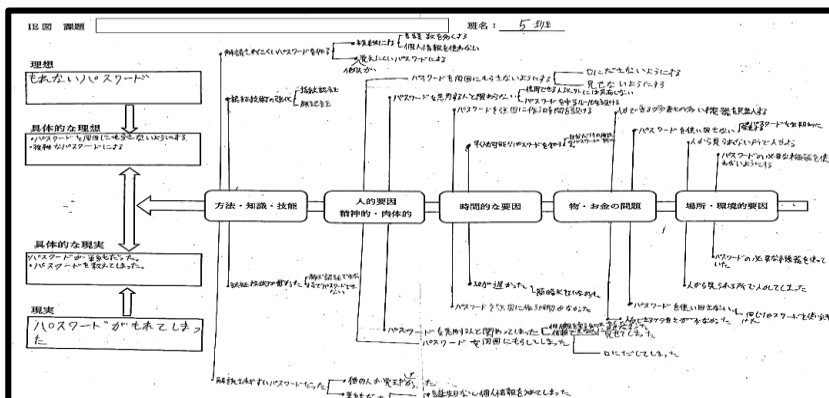
「現実」は？ それに対する「理想」は？

さらに「具体的な現実」「具体的な理想」は？

必ずIE図を書いて、原因や解決方法を良く分析すること

※「自分たちで解決する」を前提として、主体的な提案を大切にしよう

【図③】 生徒の成果物



【学習指導の具体的事例】

- ・学習の目的を明確にするため、教師側から具体的なテーマ「情報モラルを高める ～どうすれば防げたか？」について伝える。
- ・情報モラルの事例に関しては、文部科学省制作の情報化社会の新たな問題を考える動画教材を活用する。
- ・1班4名以内のグループ活動を採用を行い、教師は、リーダーのみを選出し、グループ内での役割分担等は、生徒自身に任せる。
- ・班毎に別々の事例に対して、問題解決方法を立案してもらう。
- ・問題解決型実習の概要やルール、スケジュール等を明確にし、学習の見通しを持たせる。
- ・毎時のはじめは、教師側で本時の到達目標を示し、リーダーに周知し、メンバーへ伝える事で、主体的・対話的な学習に取り組む。
- ・IE図を用いて問題の整理・発見を行う。教師は机間巡視を行い生徒を見守り、適宜アドバイスを行う。

【学習評価の工夫・改善の具体的な取組】

- ・クラウドサービスを用いて、振り返りを毎時間行う。記述形式のため校務の効率化を図る工夫が課題である。
- ・グループの成果物をもとに、メンバー全員に同等の評価を与える。

沖縄県

主体的・対話的で深い学びの授業改善は、本県においても重点的に指導している項目の1つである。本事例は、昨年度から授業改善に取り組んでいる教諭の実践事例である。教諭の課題は、学習者への説明時間が長いことや本質的な問いの設定、学習評価であった。授業における基本事項の徹底や問いの工夫、学習評価の改善に取り組んできた。今年度は、これらを深化させるため「プロジェクト型学習」を導入し自己の課題を解決している。実践にあたり他県の実践事例を調査して授業改善に役立てている。

内容については、教師がファシリテートして生徒が主体的に目標に向かって取り組んでいる様子があり、主体的・対話的な活動に繋がると思われる。また、振り返りの工夫については、ルーブリックを意識させながら毎時取り組んでいること、データの管理方法の工夫改善も挑戦しており今後の活動に期待したい。